

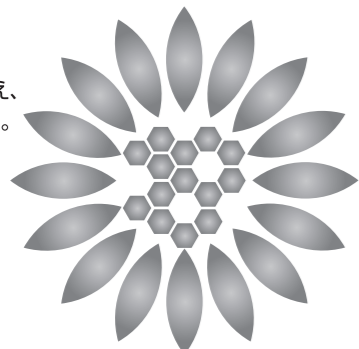
セルケア[®]2 Cellcare 2



ツーピースオストミーシステム
2-Piece Ostomy System

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、商品の特性を十分理解してお手元で使用ください。
- 常に、この取扱説明書をお手元に置き、必要に応じてお読みください。



お客様相談室 ☎ 0120-770-175
(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30)
www.alcare.jp

準備

③ ストーマ周囲を清拭します

器具を装着する前に、ストーマとストーマ周囲に付着した排泄物をティッシュ等で拭き取ります。その後、石鹸とぬるま湯をしみ込ませたガーゼでストーマ周囲をよく洗います。

この時、粘着を悪くする皮膚表面の油分を十分に取り除くようにしてください。面版が付きにくくなることや剥がれの原因となります。

その後、皮膚をよく乾かします。
*ドライヤーの熱風はストーマに刺激を与えますので、使用し避けてください。

【ウロストミーの方の場合】

清拭の間にも尿が絶えず出ているので、ロールガーゼ(ガーゼを丸めてテープで止めたもの)で尿を吸い取りながら清拭を行うとスムーズにできます。

④ 面版を貼る位置を確認します

左手側にストーマがある方は、この矢印 ↑が上にくるように貼付してください。

面版表面(剥離フィルム)

右手側にストーマがある方は、この矢印 ↓が上にくるように貼付してください。

右手側の方は右ストーマ
左手側の方は左ストーマ

剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面版の方向を確認してください。

使用手順(排便バッグとの接続方法) <Dキャップの場合>

就寝時など、排便バッグを併用される場合、下記の通り接続してください。

① 口具キャップを外します

排出口を上に向け便が出てこないように注意しながら、口具キャップを外します。

② 端部を差し込みます

排便バッグの端部を、口具の太くならないところを超えらるまで差し込みます。

③ 端部を引き戻します

排便バッグの端部を、口具の引っかかりのある部分まで引き戻します。

④ 接続チューブの使い方

※別売の接続バッグ(当社製品)の場合、バッグの先端の口具にぴったりフィットします。

使用上のご注意

排便バッグに接続する場合、顔面に注意してください。

排便物が凝結した場合など、排便バッグのチューブ部分に詰まり、流れにくい場合があります。

流れが悪い場合、排便バッグの併用をお勧めください。

はじめに

《セルケア2》は、排泄物を溜めるストーマ袋と、皮膚に固定する粘着部分の面版が独立した二品系(ツーピース)器具です。面版はあらかじめカットされたフレカットタイプを標準とし、ストーマ袋は生活のシーンに合わせて選択ができます。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従いご使用ください。

なお、商品についてご不明な点はアルケア株式会社 お客様相談室までお問い合わせください。

使用上のご注意

ご使用前には、医師または看護師の指導を受けたい、注意事項を熟読し、本品の特性を十分理解してください。

誤った取扱いを行うと排泄物のモレが発生し、モレによる皮膚炎の原因ともなります。万一、肌に合わない時は使用を中止してください。

- ストーマ周囲には軟膏等、粘着力の低下の原因となるものは塗らないでください。粘着力低下によるモレの原因となります。(被膜厚も、その特性上、粘着力に影響を与える場合があります。お使いの場合は、被膜厚の取扱説明書をよくご確認ください)
- 剥離フィルムを剥がした面版の表面には、指などが触れないようご注意ください。粘着力低下によるモレの原因となります。
- 一度剥がした面版をもう一度貼るのはお止めください。粘着力低下によるモレの原因となります。
- ストーマ袋内を洗浄して、繰り返し使用することはお止めください。袋の破損によるモレの原因となります。

セルケア2の種類と各部の名称

- 器具を装着状態で折りまげないでください。ストーマ袋の穴あきによるモレの原因となります。
- 面版の粘着面が冷たくなっている、貼り付きが強い場合がありますので、暖かい部屋に移し、全体が温まってからご使用ください。
- フリーカットの場合、面版に開ける穴は、定められたカットラインを越えて切らないでください。面版からのモレの原因となります。
- 排泄物はストーマ袋に溜めすぎないようにし、1/3くらい溜まったお捨てください。溜めすぎると重みによる剥がれの原因となります。
- 器具の使用日数が長くなると、粘着力低下によるモレの原因となりますので、ご注意ください。器具の交換日数は、発汗や排泄物等により異なりますが、2～5日が目安です。
- 万一、肌に合わない時は使用を中止し、医師または看護師にご相談ください。

保管上のご注意

- 粘着力不足など品質劣化の原因となりますので、保管の際は次のことを避けてください。
- 高温(40℃以上)・多湿の場所での保管
 - 温度の低い場所(冷蔵庫など)での保管
 - 直射日光があたる場所での保管
 - 圧迫がかかる場所での保管
 - 大量購入による長期保管
- *箱に記載されている使用期限を必ずご確認ください。
- 面版の剥離フィルムを剥がしての保管

廃棄上のご注意

使用済みのストーマ器具は、排泄物をトイレに流した後、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。器具は通常「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合もありますので、詳しくは各自自治体へご確認ください。

セルケア2の種類と各部の名称

●面版

F フラット面版
交換目安:2~5日

取り外し用タブ

Fc 凸型面版
交換目安:2~5日

取り外し用タブ

凸型面版
ストーマ周囲にシワや凹凸がある方、平坦または陥没せきみのストーマの方用です。

●ストーマ袋

Df コロ/イレオストミー用

通気回復フィルター
取り外し用タブ
排出口
クリップ

Cf コロストミー用

通気回復フィルター
取り外し用タブ

TDf コロ/イレオストミー用

通気回復フィルター
取り外し用タブ
逆流防止弁
フラップ
面ファスナー(ループ面)
面ファスナー(フック面)
プレート
折り上げライン(青線)
口具キャップ止め具
口具
口具キャップ

セルケア2の種類と規格

種類	商品コード No.	穴の大きさ (直径)	ストーマ有効径	面版サイズ (縦×横)	適応ストーマ袋サイズ	1面入数
Mフリー	18251	10mmφ	4~39mm (フリーカット)			5枚
M16	18661	16mmφ	12~15mm			
M19	18662	19mmφ	15~18mm	88mmx88mm	M	
M22	18252	22mmφ	18~21mm			
M25	18253	25mmφ	21~24mm			
M28	18254	28mmφ	24~27mm			
Lフリー	18255	10mmφ	4~49mm (フリーカット)			5枚
L32	18256	32mmφ	27~31mm	98mmx98mm	L	
L36	18257	36mmφ	31~35mm			
L40	18258	40mmφ	35~39mm			
LLフリー	18259	10mmφ	4~69mm (フリーカット)	118mmx118mm	LL	

種類	商品コード No.	穴の大きさ (直径)	ストーマ有効径	面版サイズ (縦×横)	適応ストーマ袋サイズ	1面入数
M13	18387	13mmφ	9~12mm			
M16	18388	16mmφ	12~15mm			
M19	18389	19mmφ	15~18mm	100mmx100mm	M	
M22	18381	22mmφ	18~21mm			
M25	18382	25mmφ	21~24mm			
M28	18383	28mmφ	24~27mm			
L32	18384	32mmφ	27~31mm			
L36	18385	36mmφ	31~35mm	110mmx110mm	L	
L40	18386	40mmφ	35~39mm			

セルケア2の種類と規格

●入浴用器具

U ウロストミー用

取り外し用タブ
逆流防止弁
接続チューブ
ダブルロック口具

BC 入浴用キャップ

取り外し用タブ

入浴時などに最適な肌色のコンパクトなキャップです。

●入浴用器具

BC 入浴用キャップ

取り外し用タブ

入浴時などに最適な肌色のコンパクトなキャップです。

準備

① 必要物品を用意します

- ご使用の面版とストーマ袋
- ストーマメジャーまたはカッティングゲージ
- 石鹸
- ガーゼ
- ティッシュ
- ゴミ袋
- ぬるま湯
- ハシミ(フリーカットの場合)
- 細い油性ペン(フリーカットの場合)

② 面版を剥がします

※イラストはFです。

面版の上側を軽く持ち上げ、すき間に指を入れてお腹の皮膚を押しえながら、下向きにゆっくりやさしく剥がします。

●面版が皮膚に密着して剥がれない時は、剥離剤(プロケアーリムーバーなど)で、皮膚と面版の間を濡らしながら剥がすとよいでしょう。

使用上のご注意

入浴後の交換は、お避けください。直後の温度が上がっているため、粘着が高くなり、剥がれにくいことがあります。入浴交換の場合は、30分以上たって面版の温度が下がったのを確認のうえ、行ってください。

準備

③ ストーマ周囲を清拭します

器具を装着する前に、ストーマとストーマ周囲に付着した排泄物をティッシュ等で拭き取ります。その後、石鹸とぬるま湯をしみ込ませたガーゼでストーマ周囲をよく洗います。

この時、粘着を悪くする皮膚表面の油分を十分に取り除くようにしてください。面版が付きにくくなることや剥がれの原因となります。

その後、皮膚をよく乾かします。
*ドライヤーの熱風はストーマに刺激を与えますので、使用し避けてください。

【ウロストミーの方の場合】

清拭の間にも尿が絶えず出ているので、ロールガーゼ(ガーゼを丸めてテープで止めたもの)で尿を吸い取りながら清拭を行うとスムーズにできます。

④ 面版を貼る位置を確認します

左手側にストーマがある方は、この矢印 ↑が上にくるように貼付してください。

面版表面(剥離フィルム)

右手側にストーマがある方は、この矢印 ↓が上にくるように貼付してください。

右手側の方は右ストーマ
左手側の方は左ストーマ

剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面版の方向を確認してください。

使用手順(排便バッグとの接続方法) <Dキャップの場合>

就寝時など、排便バッグを併用される場合、下記の通り接続してください。

① 口具キャップを外します

排出口を上に向け便が出てこないように注意しながら、口具キャップを外します。

② 端部を差し込みます

排便バッグの端部を、口具の太くならないところを超えらるまで差し込みます。

③ 端部を引き戻します

排便バッグの端部を、口具の引っかかりのある部分まで引き戻します。

④ 接続チューブの使い方

※別売の接続バッグ(当社製品)の場合、バッグの先端の口具にぴったりフィットします。

使用上のご注意

排便バッグに接続する場合、顔面に注意してください。

排便物が凝結した場合など、排便バッグのチューブ部分に詰まり、流れにくい場合があります。

流れが悪い場合、排便バッグの併用をお勧めください。

使用手順(排出口開閉方法) <Uの場合>

●排出口の開け/閉じ方

① キャップを外します

二重ロックされていること(上から見ても左回り方向に回転しないこと)を確認して先端のキャップを外します。
*ロックされている状態では尿はまだ出ていません。

② 尿を排出します

操作つまみを180°(上から見ても右回り方向)回転させます。
*この時、尿の排出が行われます。

③ キャップを付けます

操作つまみを元に戻し、次にキャップを付けます。
*キャップを先に閉めますと、先端部分に尿が残りますので、ご注意ください。

●接続チューブの使い方

接続チューブは、夜間などの蓄尿バッグが必要な時にお使いください。

接続チューブご使用時は、チューブのねじれや折れにご注意ください。

●別売の<尿液バッグ1号>をご使用の場合、この接続チューブは必要ありません。

使用手順(排出口開閉方法) <Uの場合>

●接続チューブの付け方

① コネクターを差し込みます

付属の接続チューブに、ご使用になる蓄尿バッグのコネクターを差し込みます。

② 接続チューブを差し込みます

次に、キャップのみを外したウリナーパウチに接続チューブを「カチッ」と音がするまで差し込みます。この時、接続チューブのねじれや折れにご注意ください。

③ 操作つまみを回転させます

最後に操作つまみを180°(上から見ても右回り方向)回転させると、接続チューブ、蓄尿バッグへ導尿されます。

●接続チューブの外し方

① 導尿を止めます

操作つまみを180°(上から見ても左回り方向)回転させ、ウリナーパウチから接続チューブ、蓄尿バッグへの導尿を止めます。

② 接続チューブを引き抜きます

接続チューブのハネ部分を指で挟み、ツメにロックを外してから(イラスト①)、ゆっくり接続チューブを引き抜きます(イラスト②)。

③ キャップを付けます

ウリナーパウチの排出口にキャップをとりつけます。

通気回復フィルターについてのご注意

●TDf/Df/Cf/D キャップをお使いの場合

*イラストはCfです。

フィルターは、ストーマ袋内に溜まったガスが徐々に抜けるようになっています。

*なお、フィルターは、ストーマ袋内の排泄物がフィルターを通して外に染み出すことがない構造になっていますので、安心してご使用いただけます。

フィルターは、ストーマ袋内に溜まったガスが徐々に抜けるようになっています。

*なお、フィルターは、ストーマ袋内の排泄物がフィルターを通して外に染み出すことがない構造になっていますので、安心してご使用いただけます。

重要

以下のような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいでください。

- ① ガスが抜けず、臭い、真空状態のようになり、ストーマから排出された便が袋の中に落ちず、ストーマ周囲に留まり、まぶさがある場合があります。このような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいで、ストーマ袋内にガスが溜まるのを防止してください。ストーマ袋内にガスが溜まったらシールを剥がして、手で軽くストーマ袋を押しつぶしてください。
- ② 入浴の時
入浴時に外側から水がフィルターに触れると活性炭が水を吸収してしまい、入浴後に活性炭を含んだ水が染み出すことで衣服を汚してしまう原因となります。
*ストーマ袋を装着して入浴した場合は、入浴後、乾いたタオル等でストーマ袋に付いた水分を拭き取るようにしてください。

このような場合には

- ご使用中に「ガスがスムーズに抜けない」と感じたら
- フィルターに排泄物の付着が見られる場合は、こするようにして拭き、取除いてください。
- フィルターを裏側と裏側から指でつまんで、2~3回回転させてください。